－　広島版「学びの変革」パイロット校事業指定校　－

安芸太田町立加計中学校公開研究会

（１）学校教育目標

「広い視野を持ち，地域に貢献し，
主体的に生きる生徒の育成」

学校教育目標

「広い視野を持ち，地域に貢献し，主体的に生きる生徒の育成」

加計中が育成する６つ資質・能力

- コミュニケーション能力
- 論理的･建設的批判能力
- 主体性・積極性
- 回復力・耐える力
- 自らへの自信
- 高い志

地域に貢献するために

◯加計高校連携型中高一貫教育
◯小中高１２年間の連携教育
◯地域との連携
◯ボランティア活動の実践
◯地域への誇りの育成
（伝統文化からの学び）

広い視野を持つために

◯基盤となる基礎学力の定着
◯基本的生活習慣の確立
◯協調学習による
「主体的な学び」の実践
◯異文化間協働活動による
多様な価値観の受容

主体的に生きる生徒の育成のために

◯「加計中六訓」「無言掃除」
◯生徒会活動・部活動の充実
◯キャリア活動の充実
◯道徳教育の充実

協　調　学　習
知識構成型ジグソー法

加計中六訓

ノーチャイム行動

無言掃除・Ｌ５の挨拶・大きな歌声・時間厳守・きまりの遵守・場に応じた言動

（２）加計中学校が育成する６つの「資質・能力」

スキル	・コミュニケーション能力 ・論理的・建設的批判能力
意欲・態度	・主体性・積極性 ・回復力・耐える力
倫理観・価値観	・自らへの自信 ・高い志

加計中学校が付けたい６つの「資質・能力」と生徒の具体像

	資質・能力	レベル1	レベル2
スキル	コミュニケーション能力	互いの良さや違いを認め合うことができる。	自分の考えを分かりやすく伝え，時と場に応じた適切なやりとりをすることができる。
	論理的・建設的批判能力	自分の考えの根拠をもち，筋道立てて述べることができる。	より良い解決の改善点となる考え方や方法を生み出すことができる。
意欲・態度	主体性・積極性	自らが課題発見し,その解決に向けて行動している。	課題のより良い解決策を集団に働きかけている。
	回復力・耐える力	困難に直面しても前向きに現状を把握し，機会の到来まで自分の夢や理想への希望を持ち続けている。	困難な状況や自らの失敗をも自分の成長のエネルギーとして生かしている。
倫理観・価値観	自らへの自信	自分自身を大切にし，向上させようとしている。	結果だけではなく，努力した過程を大切にしている。
	高い志	将来への夢や理想の実現に向けて，見通しと向上心を持ち，努力し続けている。	広い視野を持ち，高い理想を掲げて，地域社会，日本，世界のために貢献しようとしている。

（３）研究主題

他者との対話の中で知識や考えを協調的に構成し，
その先の新しい問いを見出す力の育成

～建設的相互作用を基盤とした授業づくりを通して～

（4） 加計中が目指すゴール

○ 資質・能力の育成を目指した年間指導計画

○ 「課題発見・解決学習」の単元開発・実践

○ 「課題発見・解決学習」の単元開発

単元計画，教材，実践方法，評価，検証のセット

知識構成型ジグソー法による協調学習

＋

「前向き授業」による単元計画

「逆向き」ルーブリック

↑

協調学習での生徒の変容から，育成すべき資質・能力を見直しつつ，生徒の姿をもとにルーブリックを作成

知識構成型ジグソー法による協調学習
＋「前向き授業」による単元計画

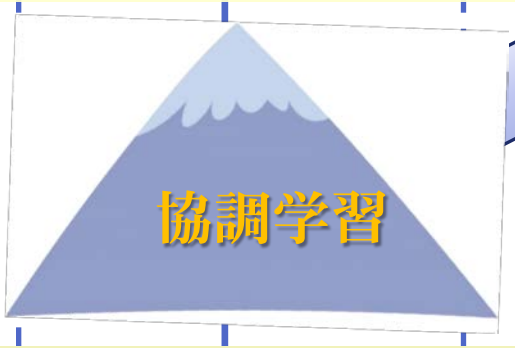
「課題発見･解決学習」の単元計画

一　次	二　次	三　次

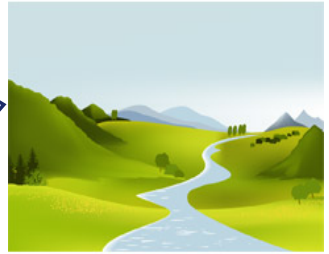
単元の中核，ポイントになる展開

- 「答えを出すべきだと考える問い」
- 「子供たちが踏み台にできる視点や考え方」

関連する内容に



次の課題が見える



「課題の設定」→「情報の収集」 → 「整理･分析」 → 「まとめ・創造・表現」 → 「振り返り」

“「逆向き」ルーブリック”

協調学習による生徒の変容から，
育成すべき資質・能力を見直しつつ，
生徒の姿をもとにルーブリックを作成
（評価基準）

↕

教材，指導案の改善

対話分析

安芸太田町立加計中学校

総合的な学習の時間　第１学年「よさこいプロジェクト２２」
～よさこいを知ろう！広めよう！深めよう！～

加計中が育成する6つの資質・能力

本単元で育成する資質・能力

- 論理的・建設的批判能力
- 自らへの自信
- 主体性・積極性
- コミュニケーション能力
- 回復力・耐える力
- 高い志

１ 単元で目指す生徒の姿

資質・能力	生徒の姿
論理的・建設的批判能力（スキル）	より良い解決を目指して，改善点となる考え方や方法を生み出す。
主体性・積極性（意欲・態度）	仲間や地域の方々と自ら関わりながら活動し，「神楽よさこい」の魅力を発信している。
自らへの自信（価値観・倫理観）	プロジェクトチームでの課題解決や「神楽よさこい」の練習を通して，自信を持って地域に発信している。

２ 単元構想図　（３５時間）

課題発見（1）

踊りを覚えて踊るだけでは，本当の魅力は伝わらないんじゃないの？
ところで，みんなは「よさこい」について知ってるの？

毎年，加計中１年生が地域でつくられた「神楽よさこい」を三中合同文化祭で披露してるのだけど，やってみる？

えー！知らない・・・。

去年の先輩たちのビデオ見たけど「かっこいいね！」

地域の方から教わって私たち１年生２２名で文化祭のステージで踊って「神楽よさこい」をＰＲしようよ！

知らなかったらＰＲできないよ！

私のおばあちゃんが神楽よさこいのメンバーだから聞いてみるよ！

知らなかったら，みんなで調べようよ！

よさこいの疑問を出し合って，プロジェクトチームで解決しよう！

よさこいプロジェクト２２　始動

情報の収集（1）

よさこいの疑問を出し合って，座標軸で整理する。

整理・分析（2）

よさこいのルーツは？
どうやって広まったの？
ファッションやメイクが気になる！　鳴子をつくってみたい！

情報の収集（2）

課題設定した７つのプロジェクトチームごとに調査や提案内容を吟味し，解決に向けて動く。

整理・分析（4）

調査方法は？
・書籍・インターネット・インタビュー　・アンケート
提案方法は？
・実際に何パターンか試作品を作って，みんなに決めてもらう。

オリジナル鳴子づくりに向けて，担当の先生に相談中。

よさこいが，高知県→日本各地で踊られていく流れを日本地図で示して説明するぞ！

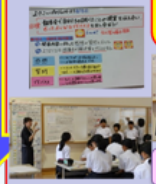
３人グループで一人ずつ「神楽よさこい」をＰＲするポスターを制作中。

７つのプロジェクトテーマが決定！

1「神楽とよさこいの特徴は？なぜ，コラボしたのか謎に迫る！」
2「よさこいのルーツを探ろう！」
3「よさこいマップづくり」
4「鳴子の秘密を探り，オリジナル鳴子を提案しよう！
5「オリジナルよさこいＴシャツと髪飾りを提案しよう！」
6「オリジナルよさこいメイクを提案しよう！」
7「神楽よさこいＰＲポスターを提案しよう！

よさこいプロジェクト報告会

目的　自分たちが調査し提案する「よさこいプロジェクト」を評価してもらい，完成度の高いものにするための意見をもらう。　**相手**　地域の神楽よさこいメンバー，クラスメイト，全職員



チームごとに報告し，アドバイスをもらう。

３種類のポスター投票。男子メイク，女子メイクそれぞれ２種類を提案して投票。

地域の方からもアドバイスをもらって，改善にいかす。

振り返り(1)

地域の投票，ポスター出来栄えが評価されたから，各々の自己ベスト１枚のポスターに仕上がることにしました。　**「自己肯定感」**

報告会でもらった意見をもとに文化祭でポスター掲示できるようにグレードアッププランを考える。

整理・分析(3)

もらった意見（ヒント）を整理して，改善できるところをグループで考えてみよう！

高知県出身の先生から詳しい情報を付け加えようよ。

県内ポスターに修正や加筆を加えたり，文化祭で踊るパチマネを手作りしたり，実際にメイクしてみたり！

課題設定(1)

「神楽よさこい」をかっこよく表現するにはどうした良いのか！

情報の収集(3)

地域で活動されている「神楽よさこい」のメンバーの方々から直接教えていただく。

見つけたポイントの「腕は耳につけて高上に上げる」を意識して踊ろう！

整理・分析(5)

教えてもらったことをもとに，自分たちで練習する。

友達と一緒に踊りながら，かっこよく踊るポイントを見つける。

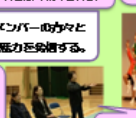
先生に見てもらって「もっと笑顔で大きく踊ろうぜ」とアドバイスをもらい，改善していく。

練習方法の工夫
①自分たちの姿をビデオに撮って振り返りに使う
②５人のリーダーが進める③カウントしながら踊る
④ポイントを図に書く⑤グループごとに見合う

かっこよく踊る５つのポイントを設定！
1. 足の踏み上げと腕一直線
2. 弓矢のポーズ
3. 模様の踊り（鳴子，正面）
4. かけ声のレベルアップ
5. 決めポーズの踊り

５人のプロジェクトリーダーが中心の練習方法を決め，率先し踊り続ける。

まとめ・調査・表現(2)



地域の祭り「龍姫湖まつり」のステージにメンバーの方々と一緒に立たせてもらい，「神楽よさこい」の魅力を発信する。

メイクをしてもらい初めての大きな舞台「龍姫湖まつり」で披露。

文化祭前の最終リハーサルで友達にチェックをもらい，自信をもって！

実行(1)

文化祭で地域へ加計中の「神楽よさこい」を発信。

よさこいプロジェクトで，みんなからのアドバイスや意見を取り入れて，新しい魅力を生み出した。　**「自己肯定感」「主体性・積極性」**

「神楽よさこい」で「キレ」や「かけ声」をパワーアップさせて最後のキメより自信を持って踊れるようになった。　**「自らへの自信」**

「神楽よさこい」で，自分たちが考えたメイクとパチマネを通して文化祭を成功させることができた。　**「自らへの自信」**

よさこいプロジェクトで，自分が積極的に意見を出して，高校生活でできた。　**「主体性・積極性」**

振り返り(2)

よさこいプロジェクトを通して，どの「資質・能力」が，どれだけ育ったか自己評価する。

１年総合　「よさこいプロジェクト２２」まとめ

１年（　　）番　名前（　　）

単元で学ぶ内容

・よさこいプロジェクトチームで課題解決しよう
・よさこいプロジェクト報告会をしよう
・神楽よさこいをマスターしよう
・三中合同文化祭で発信しよう

単元の目標

○「よさこい」のルーツや疑問に思ったことを調べ, 他者と協同して課題を解決する力を育てる。
○ 地域で活躍されている「神楽よさこい」のメンバーとの交流を通して学んだことや感じたことを「神楽よさこい」の魅力として発信することができる。

資質・能力を発揮する場面はどこ？にあって，どんな風に発揮できましたか？

論理的・建設的批判能力

●自分たちのテーマでやりたいことや他の人に伝えたいことを考えることができたか。　４・３・２・１
●他のグループの発表の良さを伝えたり，もっと良くするアイディアを出せたか。　４・３・２・１
●もらったアドバイスをもとに課題を解決する案が生まれたか。　４・３・２・１

よさこいプロジェクトで	神楽よさこいで

自らへの自信

●学んだ「神楽よさこい」の質を向上させようと練習できたか。　４・３・２・１

よさこいプロジェクトで	神楽よさこいで

主体性・積極性

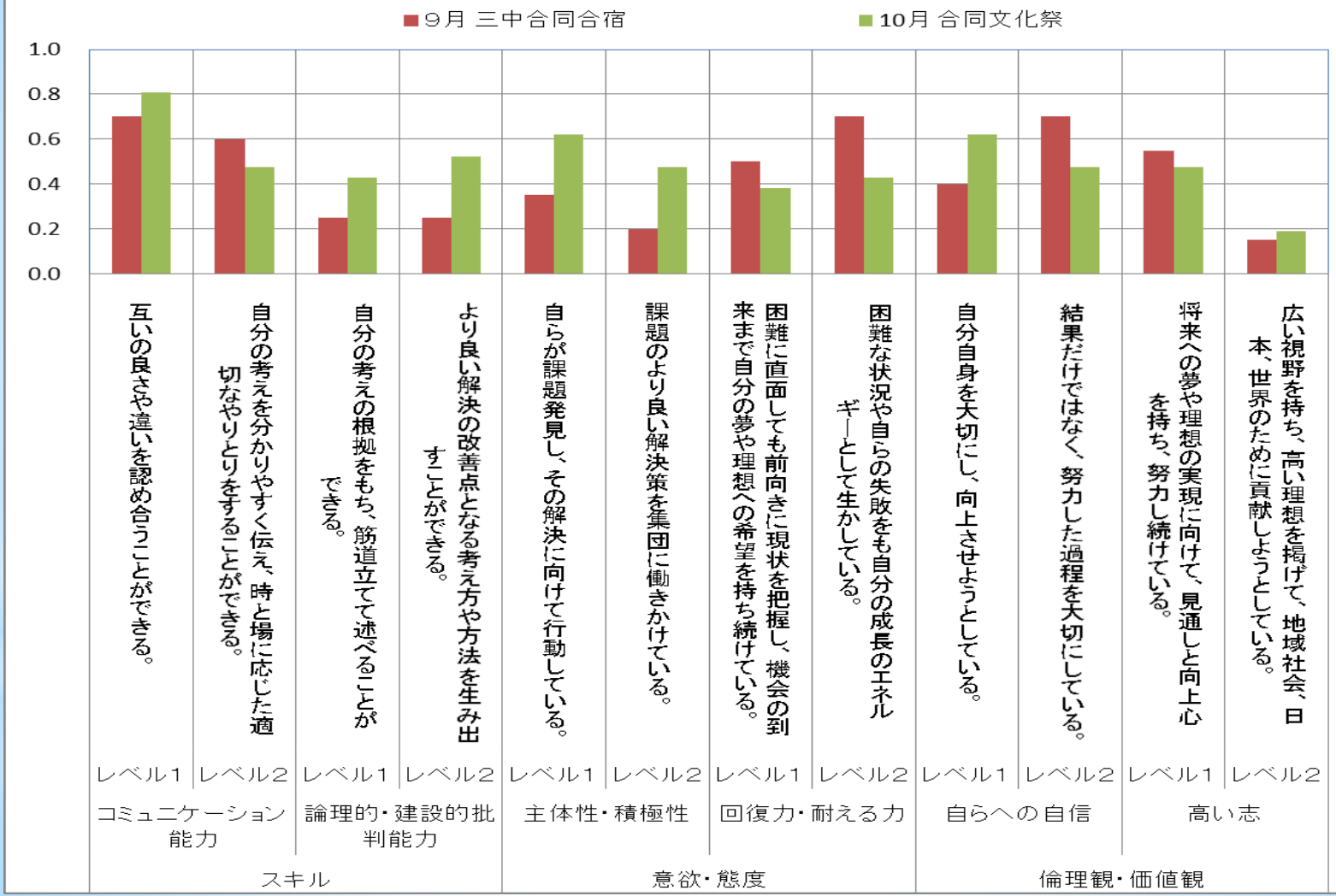
●自分たちのテーマの内容を仲間と共に積極的に調べたり，まとめたりできたか。　４・３・２・１
●地域の方と関わりながら行動できたか。　４・３・２・１

よさこいプロジェクトで	神楽よさこいで

1年　総合的な学習の時間　よさこいプロジェクト22　評価表

	名　　前	よさこいプロジェクト名	神楽よさこい関連	論理的・建設的批判能力	自らへの自信	主体性・積極性	評　　価
1	生徒A	よさこいマップづくり		報告会でアドバイスをもらったことについて課題解決できた。 自分たちの課題を解決しようとインターネットで情報収集をしたことをもとに意見を出していた。		積極的に自分たちで役割分担しながらよさこいマップを完成できた。 より良くなるための仲間への言葉かけや自ら実行しようと行動で見せることができた。	よさこいプロジェクト22では，よさこいマップの完成に向けて仲間と役割分担しながら積極的に声を掛けたり，より良くなるアイディアを出し合って課題解決を行うことで存在感を発揮した。また，神楽よさこいを地域の方から学び，全体でそろえようと表現に努めた。
2	生徒B	神楽とよさこいの特徴は？なぜ，コラボしたのかなぞに迫る！	龍姫湖祭り参加	神楽について，相手に分かるようにまとめることができた。どうしたら上手く伝わるか考えながら神楽の歴史をまとめることができた。	神楽よさこいが上手く踊れるようになった。	情報を積極的に調べたり，まとめたりできた。	よさこいプロジェクト22では，「神楽」と「よさこい」のそれぞれの特徴を調べることで，その魅力を知ろうと仲間と役割分担しながら課題解決を行った。「神楽」の歴史を主体的に調べ，分かりやすい言葉で模造紙にまとめることができた。また，龍姫湖まつりで，地域の方と一緒に神楽よさこいを踊り，交流を深めることができた。
3	生徒C	神楽とよさこいの特徴は？なぜ，コラボしたのかなぞに迫る！	リズムに合わせながら美しい型で踊る。	神楽とよさこいのそれぞれの特徴を探究して自分たちの考えを出し合うことができた。	他の班が調べてないこともしっかり調べることができた。	自分たちの課題をどうすれば解決できるか考えながら行動できた。神楽よさこいでは，地域の方と交流しながら良いものに仕上げることができた。	よさこいプロジェクト22では，神楽とよさこいが組み合わさった謎を解くために，それぞれの特徴を仲間と探究していった。考えを出し合ったり，調べていく中で課題を解決する力を育てた。また，地域の方から学んだ神楽よさこいを美しく，かっこよく踊ろうと練習に励み，発信することで自信を持つことができた。
4	生徒D	よさこいのルーツを探ろう！	龍姫湖祭り参加	プロジェクトの解決策を出し合いながら実行できた。	報告会では，他のグループに意見や感想をじっくり考えながら書けた。		よさこいプロジェクト22では，よさこいのルーツについて調べ，自分の役割部分を責任を持って果たすことができた。神楽よさこいでは，他の人からのアドバイスをしっかり聞き，練習を重ねることで，自信をもって発表をすることができた。
5	生徒E	オリジナルよさこいメイクを提案しよう！	リーダー・龍姫湖祭り参加	神楽よさこいの踊りやポーズを良くしようと，自分から意見を出すことができた。	練習に励み。本番ではリズムに合ってできた。 本番では，オリジナルメイクで踊ることができた。	家でも休憩時間なども練習をした。 オリジナルメイクを良いものにしようと主体的に考え，提案できた。	よさこいプロジェクト22では，オリジナルメイクをグループの仲間と協力し工夫したものを提案することができた。神楽よさこいリーダーとしてもクラス全体をまとめ，より良い発表にするための工夫改善を行うことができた。
6	生徒F	よさこいのルーツを探ろう！		みんなで声をかけ合いながら課題を解決できた。	練習をがんばったり，協力してプロジェクトを実行することで自信が付いた。		よさこいプロジェクト22では，よさこいのルーツについて，他のグループのよかったところを積極的に取り入れてまとめることができた。神楽よさこいでは，仲間と協力して課題を克服するまで，粘り強く練習に取り組めた。
7	生徒G	オリジナルよさこいファッションを提案しよう！	決めポーズなどを提案	みんなでそろえるために神楽よさこいのポーズや動きを提案できた。 課題を見つけアドバイスができた。	考案したオリジナルはちまきを完成させ，実際につけて踊ることができた。	オリジナルTシャツやはちまきの提案，作成ではより良いものにしようと工夫することができた。	よさこいプロジェクト22では，オリジナルのアイデアをグループの仲間と出し合い，はちまきを完成させることができた。神楽よさこい発表では，改善点を見つけ仲間と教え合い，本番では成功させることができた。

1学年　学校行事・総合的な学習の時間　資質・能力　自己評価の状況



今年度授業公開した協調学習一覧表

教　科	学年	単　元　名
国語	1	バズセッションで結論を出そう
国語	2	「説得力のある表現とは？君は『最後の晩餐』を知っているか」
国語	2	平家物語
国語	3	芥川作品を読もう
社会	1	南アメリカ州
社会	2	「幕府政治の改革と農村の変化」
社会	3	個人の尊重と日本国憲法「日本国憲法と基本的人権」
数学	2	連立方程式
数学	3	平方根
理科	3	宇宙の中の地球
音楽	2	曲の構成と曲想との関わり「交響曲第5番　ハ短調」
英語	2	Unit3 Career Day
英語	3	わが校紹介Presentation

観察窓を全開にして
一人一人の学びの様子を実際に見てみる

手法：多面的対話分析法

発話解析プログラムにインプット

データの閲覧及びキーワード生起状況の確認

3年 社会の実践

国会の地位としくみ

授業のねらい：国会は、国民に選ばれた国会議員から構成されていて、主権者である国民の意見を政治に反映させ、民主政治を実現させるしくみとっていることを理解する。

学習課題　なぜ戦前と戦後で国会のしくみが変わったのだろう

評価規準

①天皇主権から国民主権になり国会に変わった	②幅広い国民の意見を反映させるようになった	③民主主義の考えにのっとった民主政治が実現できるようになった

3年 社会の実践

前後理解比較法だけで評価をした場合

	①天皇主権から国民主権になり国会に変わった	②国民の幅広い意見を反映させるようになった	③民主主義の考えにのっとった民主政治が実現できるようになった	総合評価
1	○	△		B
2		○		B
4	○	○		B
5		○	住みやすい毎日を送るために民主政治が必要	B
6	○		民主政治を取り入れた	B
7		○		B
8		○	民主政治をすること	B
9		○		B
10		○		B
31	○	○		B○
32		○		B
33		○		B
34				B—
36		○		B
37	○	○	国民による国民のための政治	B○
38	○	○		B
39		○		B

3年 社会の実践

多面的対話分析を用いた場合の評価の変化

	①天皇主権から国民主権になり国会に変わった	②国民の幅広い意見を反映させるようになった	③民主主義の考えにのっとった民主政治が実現できるようになった	総合評価	総合評価
1	○	△○		B	B
2	○	○		B	B○
4	○	○		B	B○
5	○	○	住みやすい毎日を送るために民主政治が必要○	B	A
6	○	○	民主政治を取り入れた	B	B○
7	○	○		B	B○
8	○	○	民主政治をすること	B	B○
9	○	○		B	B○
10	○	○		B	B○
31	○	○		B○	B○
32	○	○	○	B	A
33	○	○	○	B	A
34	△	○	○	B－	B○
36	○	○		B	B○
37	○	○	国民による国民のための政治	B○	A
38	○	○		B	B
39	○	○		B	B

観察窓を全開にして、生徒の学びの姿を見てみると

設定した評価規準	前後理解比較法	多面的対話分析法
評価規準①	6人	**16人（△1人）**
評価規準②	14人	**17人**
評価規準③	4人（言葉だけ？）	**7人**

生徒は1時間でこれだけ学んでいる

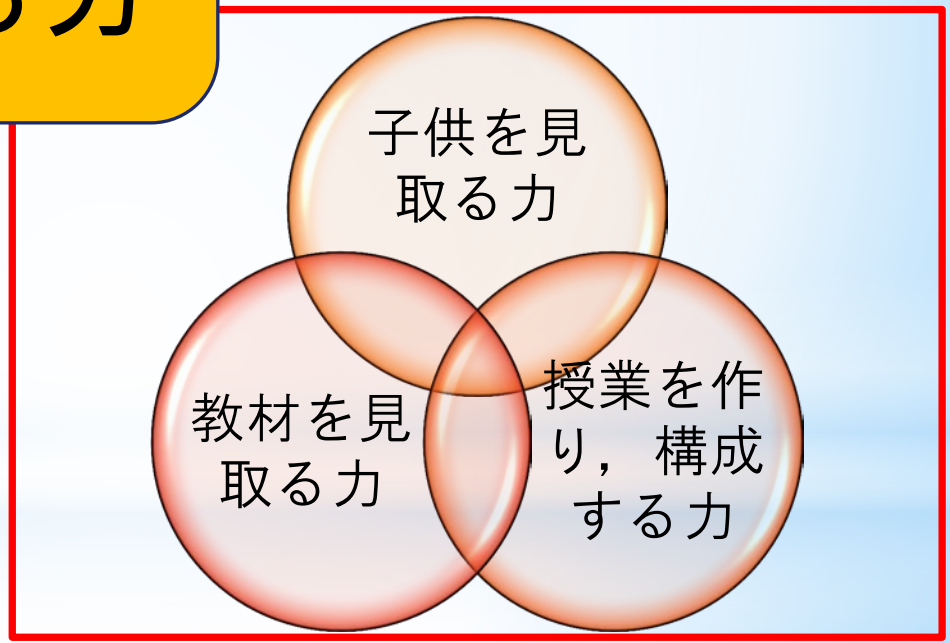
多面的対話分析を行って言えること

①生徒の学びの姿を丁寧に見とって評価をする
・質の高い評価が可能

②生徒の学習過程からの授業デザインの改善
・問いの見直し
・生徒がどこにつまずいたのか？

③普段見逃していた生徒の良さに気付ける
・生徒を見る目の変化

子供や自身の成長を見取れる力



安芸太田町中学校合同文化祭